

事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

アンケート対象	計画策定時の利用想定範囲であるむつ市及び風間浦村に在住する一般住民を対象		
配布方法	1,524世帯(想定回収率25%)を電話帳から無作為抽出し、郵送により配布	(配布部数)	1,524 部
回収方法	郵送(同封した切手貼付返信用封筒)により回収	(回収部数)	401 部
回収率	26.3%		
アンケート結果			

表 アンケートの回答数と設問の対象数
費用対効果計算の対象した回答数

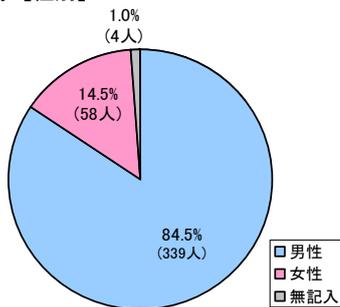
全回答数	401
【認知度有り】 「大畑海浜公園」を知っている (問6-1,問7~問13の対象)	242
【認知度有り・利用有り】 「大畑海浜公園」を利用したことがある (問6-2~問6-6の対象)	116
費用対効果(CVM)の算定に用いた回答 (無記入、抵抗回答等を排除)	289

本アンケートでは、回答者の「大畑海浜公園」の認知度や利用によって右表のように設問の対象を限定している。これにより管理状況も含めて、必要度や達成度の回答が正確なものとなったと考えられる。
全回答数は401であり、そのうち認知度・利用が共に有りの回答数は116、認知度のみの回答は242となっている。また、全回答数401からCVM計算のために無記入、抵抗回答及び無効回答を排除した回答数は289となった。

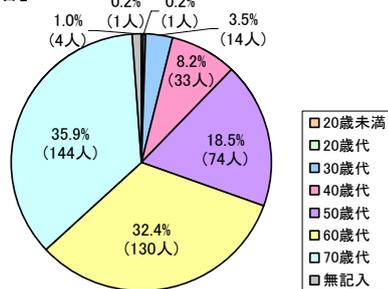
※問1~5,14は全員を対象

1. 回答者の属性

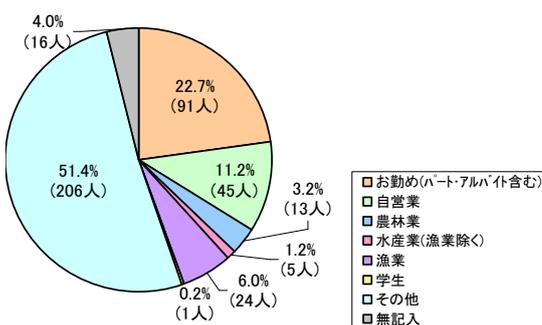
問1【性別】



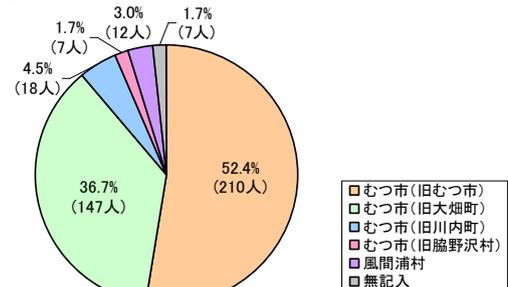
問2【年齢層】



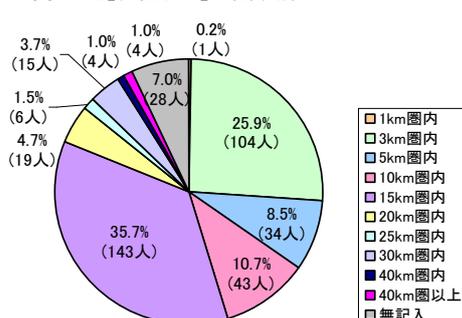
問3【職業】



問4【お住まい】



問4-2【お住まい】※圏域別



事後評価アンケート結果

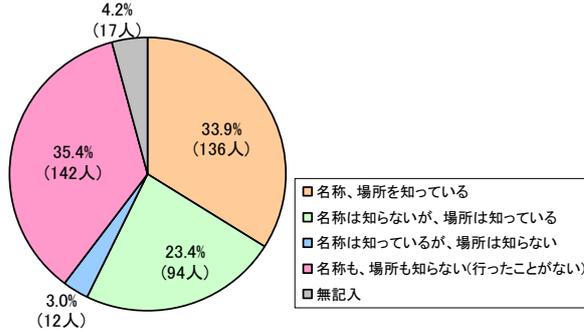
整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

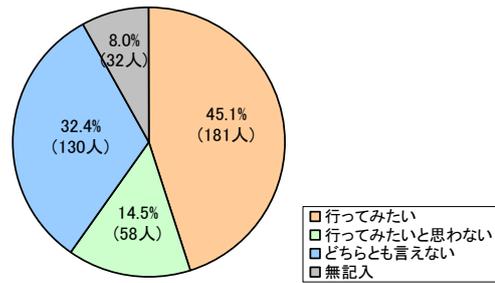
アンケート結果

2. 大畑海浜公園について

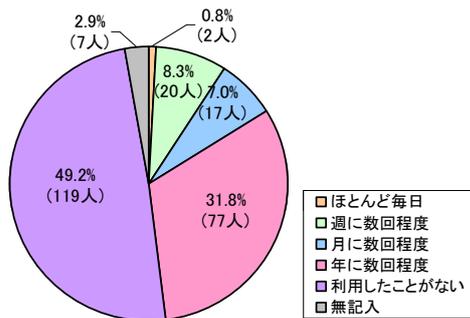
問5-1【認知度】



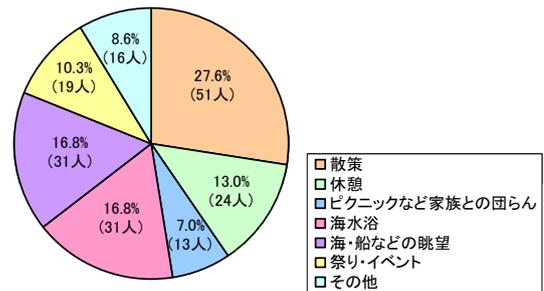
問5-2【今後の利用見込み】



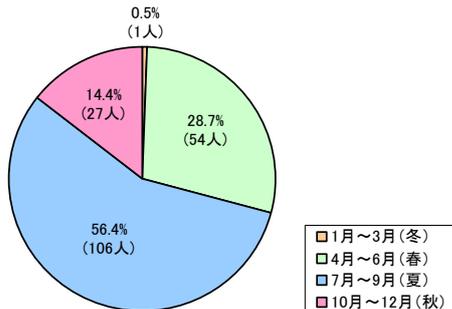
問6-1【利用回数(事業後)】



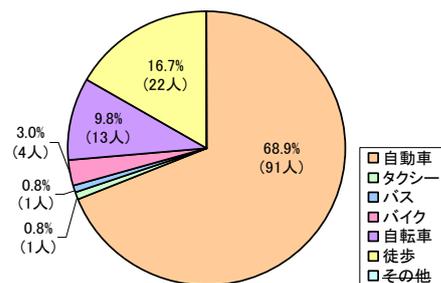
問6-2【利用目的】(複数回答可)



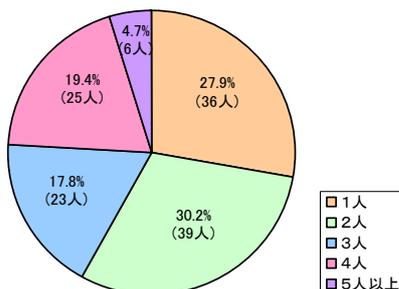
問6-3【利用時期】(複数回答可)



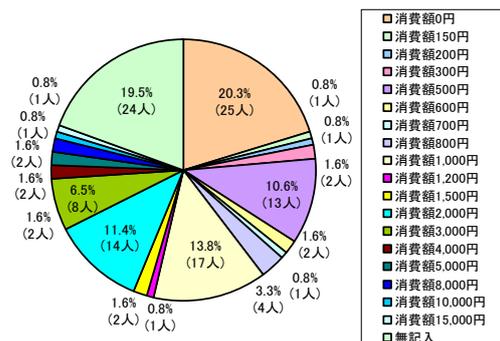
問6-4【交通手段】(複数回答可)



問6-5【訪問人数】



問6-6【消費金額】



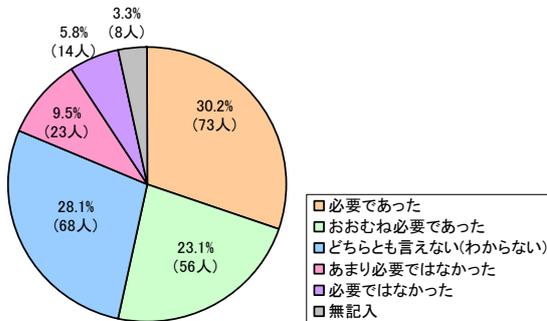
事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

アンケート結果

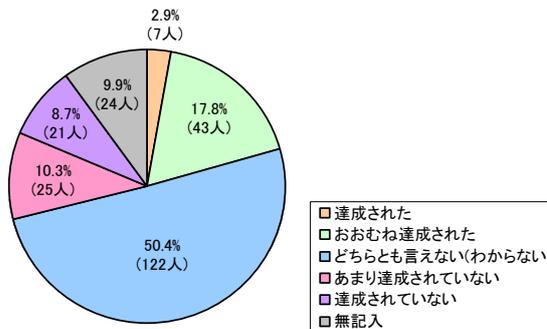
問7【必要度】



- 必要であった(おおむね必要であった)の理由
 - ・海水浴場がなかった、又は近くに少ないので(13件)
 - ・散策、休憩、憩いの場として(13件)
 - ・子供たちが安全に遊べる場所として(6件)

- 必要でなかった(あまり必要でなかった)理由
 - ・海水浴を楽しめる期間が短い(2件)

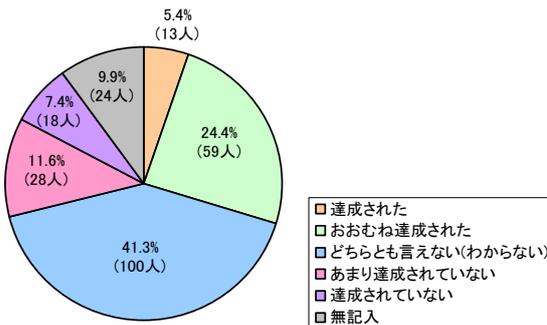
問8-1【達成度(漁業者の生産活動の支援)】



- 達成された(おおむね達成された)の理由
 - ・釣り場解放など、発展の余地がある(1件)
 - ・朝市、夕市、イベント等はまだまだ少ない(1件)

- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
 - ・生産活動支援になっていない、又は漁業関係とは別物(7件)

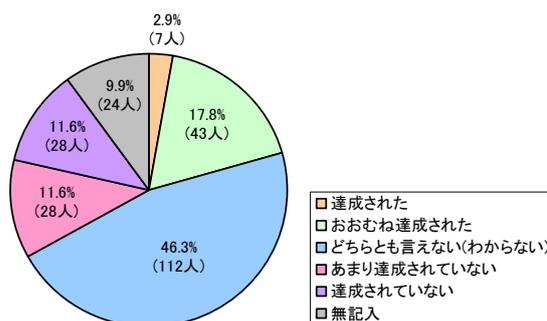
問8-2【達成度(地域住民のレクリエーション支援)】



- 達成された(おおむね達成された)の理由
 - ・散策、休憩、家族との団らんの場ができた(13件)
 - ・海水浴ができる(5件)
 - ・若い人の子育てにととてもよい環境(1件)
 - ・看板不足(1件)

- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
 - ・宣伝、イベント、施設のPR不足(5件)

問8-3【達成度(地域振興や地域活性化の向上)】



- 達成された(おおむね達成された)の理由
 - ・心安らぐ場所の確保は、活性化の基底となる(1件)
 - ・子供を通じて、大人達も仲良くなれた(1件)

- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
 - ・海浜公園の認知度が低い(3件)
 - ・年間を通じて利用できない(海水浴シーズン以外の利用方法(2件))

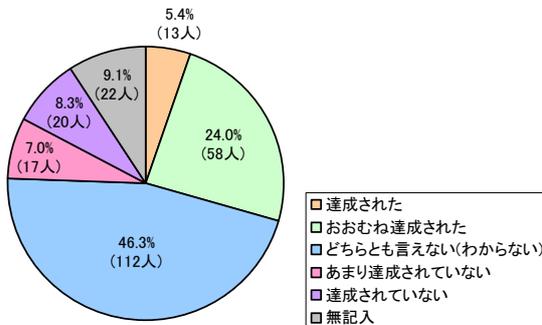
事後評価アンケート結果

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

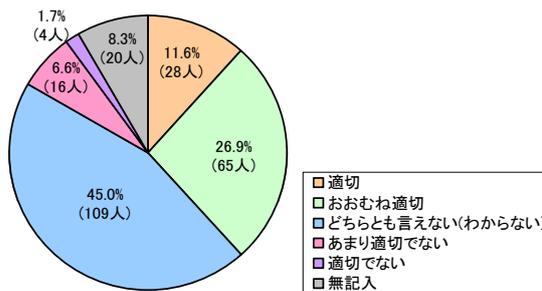
アンケート結果

問8-4【達成度(生活環境の向上)】



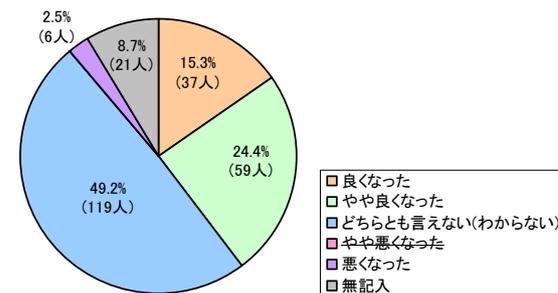
- 達成された(おおむね達成された)の理由
 - ・海岸整備が周辺に比べて際だっている(1件)
 - ・家族や子供が安心して出向けるので(1件)
 - ・公園設備、養場護岸など最高だと思う(1件)
- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
 - ・利用者が少ない、限られた人しか利用していない(3件)
 - ・緑地だけでなく、桜を植えて花見などできれば(1件)

問9【管理状況】



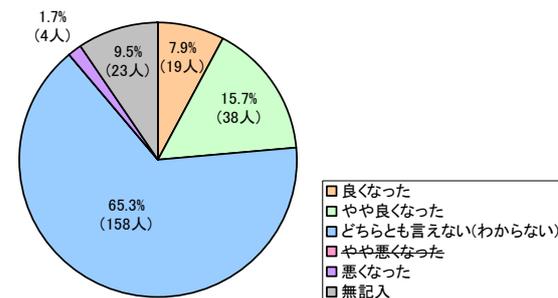
- 適切(おおむね適切)の理由
 - ・清掃が行き届いていてきれい(清潔)(6件)
 - ・現状では問題ないが、今後が大変だと思う(1件)
 - ・一部には多くのゴミが見られる(1件)
- 適切でない(あまり適切でない)理由
 - ・ゴミや犬のフンが落ちている、付近が汚いなど(4件)
 - ・トイレが壊れた時の対応が遅かった(1件)

問10-1【環境変化(自然環境(動植物、海岸など))】



- 適切(おおむね適切)の理由
 - ・海岸がきれいになった、景観がよくなったなど(3件)
 - ・鳥の巣作りなどを良く見かける(1件)
 - ・植林した樹木は防風林となり、住民の安定に寄与する(1件)
- 適切でない(あまり適切でない)理由
 - ・車が奥まで入れなくなり、利用しづらくなった(釣り)(1件)

問10-2【環境変化(生活環境(水質、風、塩害など))】



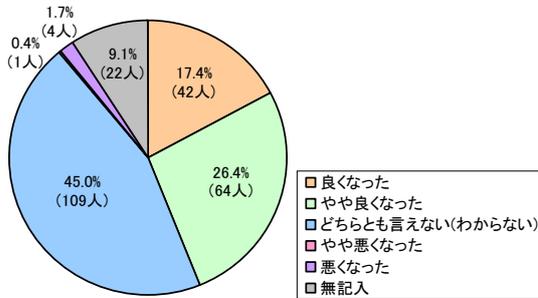
- 適切(おおむね適切)の理由
 - ・生活環境に問題ないと思う(1件)
 - ・屋根トタン、車等の塩害防止に役立っていると思う(1件)
- わからない理由
 - ・長期的スパンでの観察、確認が必要(1件)

事後評価アンケート結果

整理番号	H23 - 3
事業名	漁港環境整備事業
箇所名等	大畑漁港

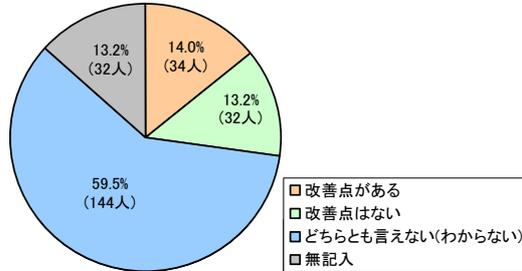
アンケート結果

問10-3【環境変化(歴史的・文化的環境(景観など))】



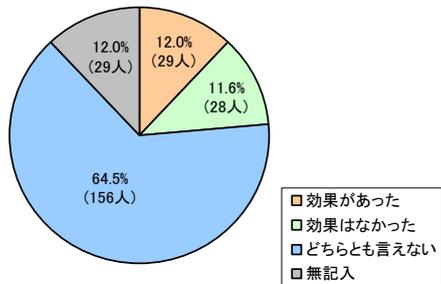
- 適切(おおむね適切)の理由
 - ・景観がよくなった(7件)
 - ・緑が増え、よくなった(2件)
- 適切でない(あまり適切でない)理由
 - ・海からのゴミが流れて汚い(1件)

問11【改善点】



- 「改善点がある」の内容
 - ・認知度を上げ、利用者を増やす(看板設置・PRなど)(7件)
 - ・シャワー室、洗い場、更衣室の整備など(5件)
 - ・漂着したゴミの除去を行う(2件)
 - ・避難道路、避難施設の整備(2件)
 - ・数カ所の東屋が必要(1件)

問12【その他効果】



- 「効果があった」の内容
 - ・遊び場が増えた(海水浴・公園)(5件)
 - ・地域性を生む土台になっている(1件)
 - ・大畑以外の人が見られる(1件)
 - ・海水浴シーズン、イベント時に賑わいを見せる(1件)
 - ・公共事業で振興があった(1件)
- 「どちらとも言えない」の内容

問13【大畑海浜公園に関する意見】

- ・認知度が低い、看板設置や宣伝などでPRをするべき(16件)
- ・もっとイベント開催するべき(8件)
- ・釣り場をつくって欲しい(3件)
- ・多目的広場に子供の遊具等が欲しい(2件)
- ・東屋など屋根を付けた休む場所が必要(2件)
- ・シャワー室、更衣室が必要(2件)
- ・年間を通して利用者が来てくれるような施設に(1件)

問14【公共事業全般に関する意見】

- ・道路や港湾、防波堤の整備が必要(3件)
- ・歩いて行ける場所に公園などの施設がほしい(2件)
- ・冬期に利用できる施設が欲しい(1件)
- ・幼児が自然に慣れ親しめるもの(1件)
- ・地域住民が子供から大人、老人に至るまで全ての町民が供用でき、憩える施設を整備すべき(1件)

(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

大畑漁港 空中写真



(平成21年撮影)

大畑海浜公園 全景



多目的広場



トイレ



(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------



利用状況
(平成21年7月26日の利用状況)



利用状況
(平成22年8月5日の利用状況)

費用対効果分析説明資料

整理番号 H23 - 3

事業名	漁港環境整備事業	箇所名等	大畑漁港
-----	----------	------	------

【費用対効果の算定内】

1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は、『水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(平成22年11月改訂 水産庁漁港漁場整備部)』(以下、ガイドライン)によるほか、算定手法については、『ガイドライン』、『漁村関係事業便益算定マニュアル(平成22年4月 水産庁漁港漁場整備部)』及び『海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(平成16年6月 農林水産省農村振興局・農林水産省水産庁・国土交通省河川局・国土交通省港湾局)』を参照した。

費用対効果の算定には、整備に係る総費用及び維持管理費について、現在価値化したものを費用(C)、大畑海浜公園の利用・存在効果について貨幣化したものを便益(B)として評価するものである。

2. 算定の前提条件

- (1) 評価基準年度: 平成23年度
- (2) 評価期間: 事業期間+43年間(総合耐用年数により設定)
- (3) 費用及び便益の現在価値: 投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。
また、費用便益分析で扱う費用は、漁港デフレータ^{※1)}を乗じ、計上している。

※1) 漁港デフレータ(2010漁港漁場漁村ポケットブック)

3. 総費用(C)の算定

(金額単位: 千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
①事業費	1,484,920	2,429,882	事業期間H7~H18
②維持管理費	43,000	5,898	
合計	1,527,920	2,435,780	

4. 総便益(B)の算定

海浜公園の整備による「地域文化保全・継承効果(新たな余暇の場、住民交流の場の創出)」を仮想市場法(CVM)で算定し、そのほかの各効果については、費用便益積上法によって、算定している。

なお、CVMでは、計画策定時の利用想定範囲であるむつ市及び風間浦村の全30,078世帯のうち、1,524世帯(想定回収率を25%と設定)を電話帳から無作為に抽出してアンケート調査を実施し、この調査結果に基づき便益額を算定している。また、費用便益積上法では、地元漁業関係者等へのヒアリングにより便益のシナリオ及び原単位を調査・確認した上で、ガイドラインの算定手法に基づき便益額の算定を行った。

なお、当事業は平成18年に完了しているが、災害の影響により、供用開始は平成21年となっており、実際の供用開始に応じて便益を計上している。

(金額単位: 千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
①労働環境改善効果	2,608,810	1,390,276	60,670千円/年
②漁業外産業への効果	210,657	124,132	4,899千円/年
③生命・財産保全防御効果	1,037,461	546,180	24,127千円/年
④地域文化保全・継承効果	801,864	422,048	18,648千円/年
合計	4,658,792	2,482,636	

【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益})/C(\text{総費用}) = 2,482,636 \text{ (千円)} / 2,435,780 \text{ (千円)} = 1.02$$

平成12年度 漁港事業再評価

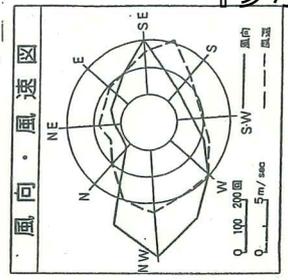
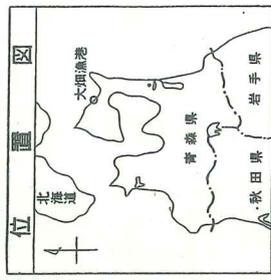
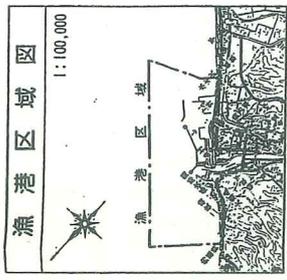
事業名	大畑漁港漁港環境整備事業				
地区名		事業採択年度	平成7年度	現地着工年度	平成7年度
全体事業費	施設名				
17億円	階段式護岸	268 m、	潜堤	200 m	
	多目的広場	12,000 m ² 、	養浜	11,000 m ²	
	駐車施設	6,500 m ² 、	植栽	18,000 m ²	
	休憩所等	一式、			
関連事業の進捗状況					
農林水産資源を活用した試験研究、商品開発等を行う「下北ブランド研究開発センター（仮称）」が平成13年4月1日に開所予定となっている。					
平成12年度までの投資額	7億8千5百万円				
事業の目的・内容					
大畑町は下北半島国定公園に指定されている薬研温泉、また県内有数のいか釣り漁業の拠点として有名であり、年間16万9千人（平成9年度、日本観光協会調べ）の観光客が訪れている。					
大畑町では、年々厳しさを増す漁業情勢に対応するため、県内外の観光客等との積極的な交流による町おこしに取り組んでおり、本計画は、漁業者や地域住民、大畑町を訪れる観光客から要望の高い海浜部のレクリエーション施設を整備し、漁港を核とした地域の活性化及び海岸域の有効利用を主目的として策定したものである。					
社会経済情勢					
大畑町は下北半島国定公園に指定されている薬研温泉、また県内有数のいか漁の拠点地として有名であり、年間16万9千人（平成9年度、日本観光協会調べ）の観光客が訪れているが、平成5年度からのデータでは、微減傾向にある。					
	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
	184千人	181千人	173千人	178千人	169千人
事業の進捗状況					
平成12年度末の進捗率は46.2%であり、平成12年度末迄には外郭施設である階段式護岸が完成し、また、用地及び潜堤にも着手することとしている。					
事業コスト縮減や代替案の可能性					
平成10年10月に漁港課で策定したコスト縮減チェックリストを用いコスト縮減を検討している。埋立土については、大畑漁港の浚渫土を利用しコスト縮減を図っている。					
事業進捗が順調でない原因等					
平成16年度完成に向けて順調に推移している。					
今後の対応方針	継続				
今後も、整備計画に基づき努力していく。					

第9次漁港整備長期計画
大畑漁港環境整備事業計画平面図

漁港番号 1230040
種別 第3種
所本 本土
管青 青森県
事業主体 青森県
管理者 青森県
施行場所 青森県下北郡大畑町大字大畑字水木沢

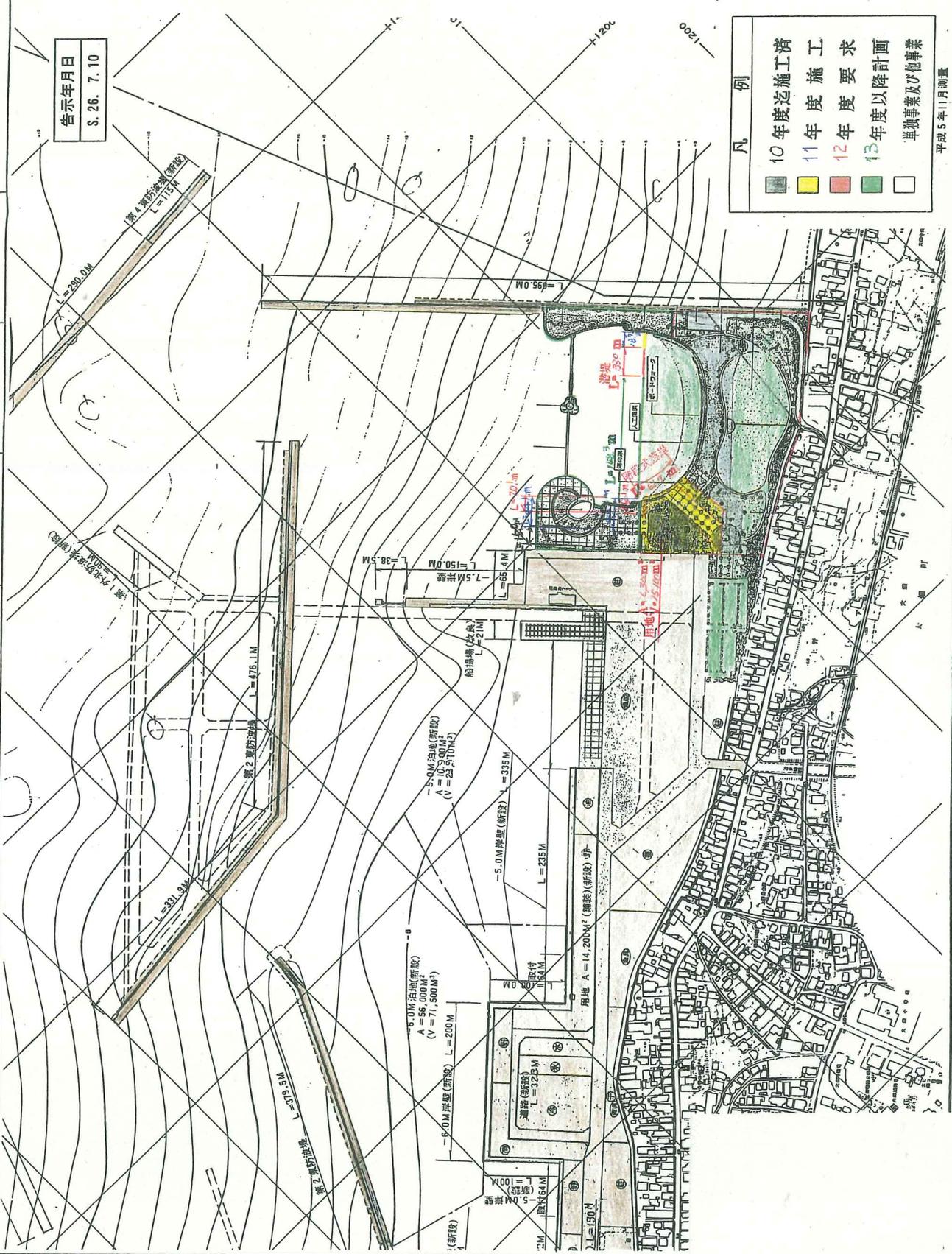
S=1:5,000

告示年月日
S.26.7.10



潮位図 (Tide Level Diagram)

H.H.W.L	+2.018
H.W.L	+1.408
M.S.L	+0.631
T.P	+0.270
L.W.L	+0.038
D.L	+0.000



凡例 (Legend)

10年度迄施工済	11年度施工	12年度要求	13年度以降計画	単独事業及び他事業
(Grey)	(Yellow)	(Red)	(Green)	(White)

平成5年11月測量

【参考：平成12年度再評価資料】